



2-4 障害者福祉の推進

障害のあるすべての人の個性が尊重され、自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めます。

■施策の展開内容

障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。

■現状と課題

- 本市では、障害者手帳を所持している人が年々増加しており、市に寄せられる相談内容が多様化・複雑化しています。障害のある人の重度・高齢化、家族関係、経済的な負担、近隣問題、虐待などの複合的な相談支援を、医療機関、警察などの関係機関と連携し、個々のケースに応じて専門的に対応していくことが求められています。
- 障害に対する社会の理解は未だ十分な状況ではなく、障害のある人は、社会参加が難しく、生活しづらい環境にあります。障害のある人が安心して生活できるよう、地域共生社会の実現が求められています。

■主な取組

障害福祉サービスに関する相談・支援の実施

- 障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。
- 障害のある人やその家族などが安心して暮らせるよう、経済的な負担を軽減する支援を行います。

障害者の社会参加・自立支援

- 日常生活上の支援が必要な障害のある人に対し、食事や排せつなどの介護を行うとともに、軽作業などの生産活動や創作活動の機会を提供していきます。
- 障害に対する理解を深めるために、ボランティアなどの受け入れや地域住民との交流を推進します。
- 地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。
- 障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。

■ 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
在宅福祉サービスの延べ利用者数	2,482 人 (R2)	2,875 人	
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	10,164 人 (R2)	14,352 人	療養介護、生活介護、施設入所、共同生活援助、自立訓練（宿泊・機能・生活）、就労移行支援・就労継続支援（A・B）の実績件数

■ 施策の満足度・不満足に関する指標（現況値は令和元年の市民アンケート結果を記載）
【障害者支援】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 76.4%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	36.4%	54%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.0%	6.9%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	8.0%	
	湖北地区	9.9%	
	新木地区	8.2%	
	布佐地区	9.3%	